

## 殺虫剤

# エフィコン<sup>®</sup>SL

(®=BASF社の登録商標)

殺虫剤分類 36

有効成分  
アクサリオン<sup>®</sup>  
(ジンプロピリダズ)  
..... 10.8%

登録番号：第25005号

性 状：褐色～暗褐色透明水溶性液体

毒 性：普通物\*

危 険 物：三石・Ⅲ・水溶性

有効年限：3年

包 装：250ml×20本、500ml×20本



\* 普通物：毒劇物に該当しないものを指す通称

## ■特長

- 新しい作用機構(IRAC : 36)により、既存薬剤抵抗性害虫にも優れた効果
- 速やかに吸汁を阻害することによる、ウイルス媒介抑制効果
- 優れた移行性(浸透性、根からの浸透移行性、葉から葉への移行性)で安定した効果
- ハチや天敵といった有用生物への影響が少ないとから、IPMに適する

## ■適用病害虫と使用方法

(2026年1月14日現在)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジンプロピリダズを含む農薬の総使用回数
りんご							
なし もも	アブラムシ類	1000～ 2000倍	200～700 ℥ / 10a	収穫7日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
	カイガラムシ類	1000倍		収穫前日 まで			
おうとう	オウトウショウジョウバエ			収穫7日前 まで			
ぶどう	チャノキイロアザミウマ						
キャベツ ブロッコリー	アブラムシ類	250倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (30×60cm、使用土壌 約1.5～4 ℥)当り0.5 ℥	定植当日	1回	灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は 1回以内、散布は 2回以内)
		1000～ 2000倍	100～300 ℥ / 10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は 1回以内、散布は 2回以内)
	アザミウマ類	1000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジンプロピリダズを含む農薬の総使用回数	
はくさい	アブラムシ類	250倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (30×60cm、使用土壤 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	定植当日	1回	灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)	
		1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布		
レタス類		250倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (30×60cm、使用土壤 約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	定植3日前~定植当日	1回	灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)	
		1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布		
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)	
	ア布拉ムシ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布		
	コナジラミ類 アザミウマ類 トマトサビダニ	1000倍						
なす きゅうり	ア布拉ムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)	
	ア布拉ムシ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布		
	コナジラミ類 アザミウマ類	1000倍						
ピーマン すいか メロン	ア布拉ムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)	
	ア布拉ムシ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布		
	コナジラミ類	1000倍						
いちご	ア布拉ムシ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)	
		1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布		
	アザミウマ類	1000倍						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジンプロピリダズを含む農薬の総使用回数
てんさい		100倍	ペーパーポット1冊当たり 1ℓ(3ℓ/m <sup>2</sup> )	定植当日	1回	灌注	3回以内 (但し、定植時までの灌注処理は1回以内、散布は2回以内)
		2000～3000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
ばれいしょ	アブラムシ類	100倍	20ℓ/10a	植付時	1回	植溝内土壤散布	3回以内 (但し、植付時の植溝内土壤散布は1回以内、散布は2回以内)
		2000～3000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
だいす		2000～4000倍					
茶	チャノミドリ ヒメヨコバイ、 チャノキイロ アザミウマ	500～1000倍	200～400ℓ/10a	摘採14日前まで			

## △ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 敷布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 軟弱な苗、または高温条件下で灌注すると薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 野菜類への灌注処理後、ポット又はトレイのまま放置すると、葉縁部の壊死やそれに伴う葉の変形を生じるおそれがあるため、灌注処理後はできるだけ速やかに定植してください。
- ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさけてください。
- 茎葉散布は、害虫の発生初期に行い、とくに発生が多くなってからのアザミウマ類、カイガラムシ類への散布は効果が劣るので、発生状況をよく確認の上、使用してください。
- りんごの品種「秋映」では、花弁や葉に薬害(褐変)が生じるので使用しないでください。また、飛散(ドリフト)等により散布液がかからないように十分注意してください。
- キャベツの育苗期に灌注する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。特に、品種「初秋」に使用すると、葉の奇形や生育遅延を生じる場合があるので注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせて使用してください。
- 空容器等はほ場に放置せず環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

## ⚠ 安全使用上の注意事項

**保 管**…火気をさけ、食品と区別して、直射日光のあたらない低温な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

